

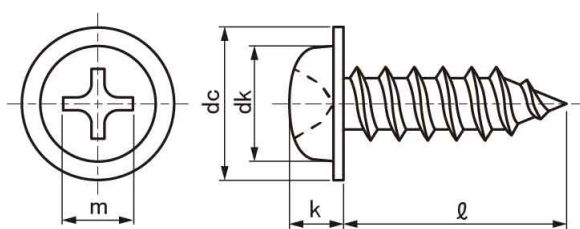
HT20・HT60 電話機は下記により壁掛けが可能です。(廃盤の T-1,T-3 も同様)

1) 準備:

■HT20・HT60 の場合、代理店様/工事業者様にネジを準備頂いております。(T-1 の場合ネジ 2 本とプラスチックブッシュが付属しています)

ネジ仕様: M 3 x 2.5 mm、但し長さは現地の状況により変更可とします。

下記ではタップネジとしていますが頭部ツバ部分の形状が合致すれば壁材質・形状に応じた他のネジでも可です。



呼び径		3
dk	基準寸法	5.5
	許容差	
dc	基準寸法	8.0
	許容差	
k	基準寸法	2.2
	許容差	±0.1
十字穴	m	参考
	Q	最大
		最小
	十字穴の番号	
d	最大	3.1
	最小	3
ねじの山数25.4mmに付き		24

例: 株式会社山崎様 (<https://www.ymzcorp.co.jp/>); 鉄 (または標準) ユニクロ (+) Aナベ (WH(800 個入) 3x25・・・2022 年時点ではバラ売りも可能でした。)

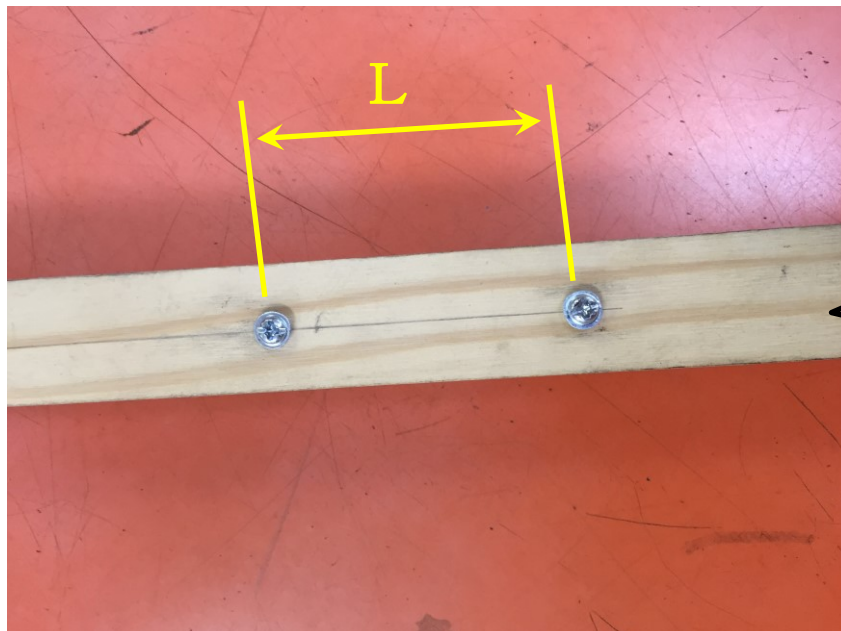


プラスチックブッシュ:
漆喰などタップネジで保持出来ない壁材質
の際に別購入 (HT20,HT60) して下さい

2) ネジの取り付け：

■ネジを壁にネジ込みます。壁とネジの隙間に電話機の溝を差し込みますのでツバと壁の間に隙間を空けて下さい。(寸法は下記)

ネジ間隔 (L) は T-1 では 56mm (縦方向)、HT20 では 55mm (縦方向)、HT60 では 65mm (横方向) とします。下図では分かりやすいように壁の代わりに木材で例を示しています。



壁
(木材)



壁とネジのツバ間に
2mm程度(HT20)
3mm程度(HT60)
の隙間をあける。

最終的には電話機を取り付け
隙間の高さを調整する。固定
が固すぎると本体を破損
する可能性があるので注意

3) 電話機の固定：

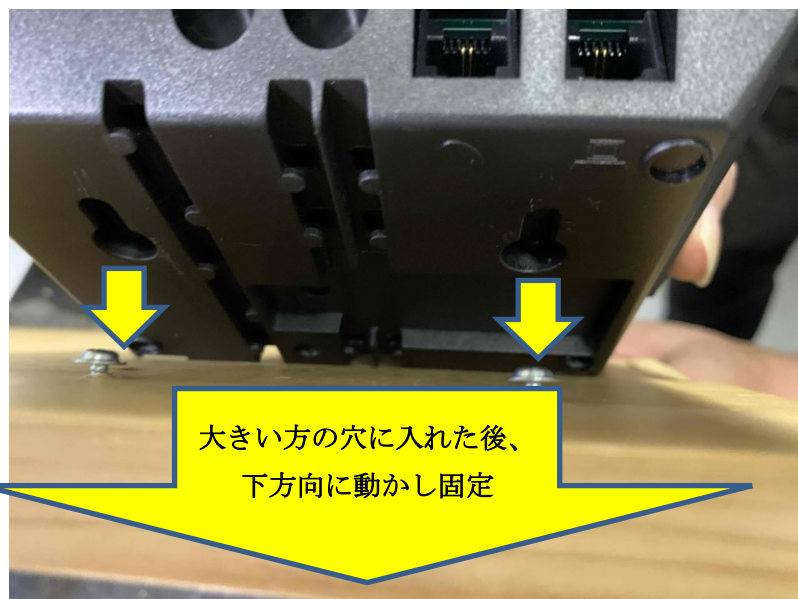
電話機のダルマ穴の大きい方をネジに差し込みます。(2 か所同時) 電話機を下にさげて固定します。壁とネジのツバ間の寸法(高さ)を調整してしっかり固定出来るようにします。ネジの締め過ぎは本体を破損させる可能性があるので適切な高さに調整して下さい。

HT20 の例



大きい方の穴に入れた後、下方向【図では右】に動かし固定

HT60 の例



大きい方の穴に入れた後、
下方向に動かし固定



壁に掛けた状態は右図のようになります。(HT20)

4) 壁面取り付け時の注意：(カールコードにより受話器が浮かない事を確認して下さい)

JACOB JENSEN™ 電話機 壁面取付のご注意

Jacob JensenのT-1電話機を壁面に取付けてご使用になる場合は、受話器のカールコードが壁面等の障害物で干渉しないように設置してください。(図1/図2)

障害物があると受話器の下部が本体より浮き上がり、回線に接続された状態となる恐れがあります。(図3)



図1)

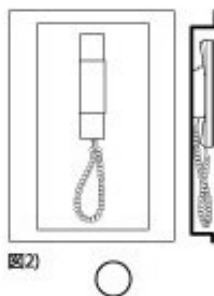


図2)

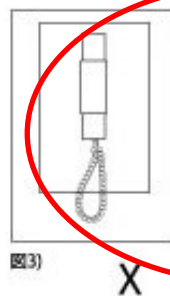


図3)

⚠ 障害物により受話器
が本体より浮き上がり
正常に動作しません。

株式会社 ビーオーエス